

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標	(ア) 地域住民の生活基盤の安定と生命安全の確保 (イ) 不発弾処理技術の向上による犠牲者の減少
(2) 事業内容	(ア) 不発弾処理活動 ラオス不発弾処理機関アッタプー県支部(以下 UXO Lao-ATP)の7個処理チームと協同で不発弾処理活動を実施している。2013年9月豪雨及び台風の影響で不発弾処理現場、進入路等に多くの倒木が発生し一時的な作業の妨げはあったが、ほぼ計画通り行っている。 (イ) 不発弾処理技術移譲 UXO Lao-ATP に対して、学科(計画教育)及び実技(OJT)での不発弾処理技術移譲を実施している。UXO Lao-ATP 処理チームを主対象として不発弾処理現場での実技指導に重点を置いて行っている。また、随行指導による不発弾処理技術移譲を実施し大型爆弾等の不発弾処理教育を行っている。
(3) 達成された効果	(ア) 不発弾処理 12月末時点において、不発弾汚染地域5個郡27カ村62.1haを安全化し、大型爆弾3発、クラスター子弾(爆弾子弾)287発、砲弾等176発の処理を実施している。また、現在の達成度は、年間目標巡回村数:5個郡61カ村に対し44%、年間目標面積:145haに対し43%となっている。安全化した土地は、37.7haが田畑として利用され、24.4haは村の拡張や新規の村づくりなどとして利用され地域住民の生活環境の改善に寄与している。 (イ) 不発弾処理技術移譲 JMAS 専門家は、UXO Lao-ATP 隊員84名(不発弾処理技術移譲対象者を79名から84名に事業変更申請提出済み)に対して不発弾処理技術移譲を実施している。主対象である処理チームにおいては、上級不発弾処理技能者(以下 SEOD)2名、チーム・リーダー8名、一般隊員68名、それぞれの目標レベルに応じた教育を行い、年間実施目標232回に対して95回を実施した。(達成度:41%) (a) 学科教育 SEOD、チーム・リーダーには爆弾のこぎりカット法及び新たに発見された不発弾の識別要領、処理要領を中心に教育した。一般隊員には、共通の教育として不発弾処理の基本的事項が単独で実施できるよう教育した。 (b) OJT チーム・リーダー、一般隊員には、基本的な探査要領及び発見された不発弾の識別、処理要領を指導した。 SEODには特殊信管、爆弾のこぎりカット法について個人指導した。 また2個グループのチーム編成のため、専門家のOJT教育が不足する部分をSEODに分担させて指導させた。 (c) 随行指導では、これまで発見されていなかった爆弾の処理を行い、処理経験のない不発弾についての識別要領を実地で確認をさせるとともに、マニュアルを使用した学科教育を行い、SEOD に対して新種の不発弾に対する識別能力を習得させることが出来た。また、チーム・リーダー及び一般隊員については、豪雨の影響で道路が泥濘化し現場へ行けない状況や不発弾を舟での運搬を行う状況など、多様な状況の中での作業を通じて不発弾

	<p>処理の経験を高めることが出来た。12月に実施した随行指導では、南部2県(セーコン県・サラワン県)のUXO Lao 隊員(SEOD)4名への研修を実施し、UXO Lao 全体に対する不発弾処理技術移譲の基盤の構築に努めた。</p>
<p>(4) 今後の見通し</p>	<p>(ア) 不発弾処理活動 不発弾処理汚染地域の処理面積目標 145ha の処理は実施し、住民の生活の安定、教育環境や生活環境の改善に貢献できる見込みである。</p> <p>(イ) 不発弾処理技術移譲 引き続き年度の教育実施計画に基づき不発弾処理技術移譲を実施し、UXO Lao 隊員がそれぞれの目標レベルに応じた技術が習得出来ているかについて、不発弾処理技術判定を行い習得度の確認を行うとともに南部2県(セーコン県・サラワン県)のUXO Lao 隊員及びUXO Lao 全体の教育を行っているトレーニング・センターの教官への研修を実施し、UXO Lao 全体に対する不発弾処理技術移譲の基盤構築に努める。2014年1月に予定する随行指導では、南部2県、トレーニング・センター及び不発弾処理関係機関も参集し「爆弾のこぎりカット法」の不発弾処理技術移譲を実施する。 また、ナショナルスタンダード(LAO PDR NATIONAL UXO MINE ACTION STANDARDS/NS)、法定訓練基準(National Training Standard/NTS) 及び不発弾処理実施規定(UXO Lao STANDARD OPERATING PROCEDURES /SOPs)に爆弾のこぎりカット法を反映させ、爆弾のこぎりカット法のラオスにおける定着化を図る。</p> <p>(イ) 調整会議の実施 事業に関係する機関関係者の参集を募り、事業内容・成果・課題等について説明・討議し事業の円滑な実施を図っていく。</p>